

MUSASHINO UNIVERSITY

OPEN CAMPUS 2018



有明
CAMPUS

7.22 SUN

8.26 SUN 8.27 MON

10:00~15:00(入退場自由)

武蔵野
CAMPUS

6.17 SUN

10.28 SUN

10:00~15:00(入退場自由)



武蔵野大学 | データサイエンス学部

データサイエンス学科

2019年4月 私立大学初開設

文系、理系からも新しい分野へ挑戦できます!

武蔵野大学データサイエンス学部の学びは実践的で学際的な学問です。そのため、文系、理系の枠にとらわれずユニークで多彩な高校生が受験できるよう、様々な入試方式を用意しています。

2019年度入試日程【データサイエンス学科】

入試区分	試験日	試験科目等
AO入試	10月7日(日)	データサイエンス学科の示す課題、オープンキャンパス模擬授業の課題を提出するなどして出願する。面接を実施する。
武蔵野FS入試	10月21日(日)	新しい入試制度。FSは「フィールド・スタディーズ」の略。課外、学外での活動を報告する資料などで出願し、面接を実施する。
公募制推薦入試	11月4日(日)	高校評定値の基準、資格取得などを条件に出願する。学校長の推薦が必要。他大学との併願可能。面接を実施する。
ムサシノ スカラシップ入試	(1次)12月2日(日)	英語+選択(国語、数学IA、数学IⅡAB)
	(2次)12月16日(日)	書類審査、面接
全学部統一入試	1月27日(日)	英語+数学IⅡAB+選択(物理、化学、生物)
一般入試A日程(文系)	2月5日(火)	英語+国語+選択(数学IA、世界史、日本史、政治経済、物理、化学、生物)
一般入試A日程(理系)	2月6日(水)	英語+数学IⅡAB+選択(物理、化学)
一般入試B日程	2月15日(金)	英語+国語+選択(数学IA、世界史、日本史、政治経済、物理、化学、生物)
一般入試C日程	3月3日(日)	英語+選択(数学IⅡAB、国語)+選択(数学IA、世界史、日本史、政治経済、物理、化学、生物)
センター利用前期入試	(本学での試験はなし)	1~5科目判定型※日程により異なる 数学必須。 数学以外は本学が指定する科目のうち、高得点の科目を自動的に採用。
センター利用中期入試		
センター利用後期入試		

さあ、ビッグデータ×AIが作り出す未来の可能性を探しに行こう。

お問い合わせ

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



11学部19学科の総合大学

データサイエンス学科
数理工学科
環境システム学科
建築デザイン学科
経済学科

経営学科
会計・ファイナンス学科
法律学科
政治学科
教育学科

子ども発達学科
日本文学文化学科
グローバルコミュニケーション学科
日本語コミュニケーション学科
グローバルビジネス学科

人間科学科
社会福祉学科
薬学科
看護学科

武蔵野大学入試センター

〒135-8181 東京都江東区有明三丁目3番3号 TEL:03-5530-7300
nyushi@musashino-u.ac.jp https://www.musashino-u.ac.jp



本学HP



データサイエンス学科

AI使って何しよう?

ビッグデータ×AI×○○
||
あなたの可能性

データサイエンスは、世界をもっと面白くする。

MUSASHINO UNIVERSITY | DEPARTMENT OF DATA SCIENCE

MUSASHINO UNIVERSITY | DEPARTMENT OF DATA SCIENCE

ビッグデータ×AI(人工知能)× ○○

ビッグデータとAIを掛け合わせると、今まで想像もできなかったような新しい変化が生まれます。みなさんの身の回りではどのようなことが起きるでしょうか？いくつかの例を紹介します。

EXAMPLE_01

ビッグデータ×AI× ファッション

AIは日々蓄積される画像データからどのファッションがおしゃれか、流行するかを判断することが可能となります。自分の今のネイルと似た感じのネイルをAIが探すことで、自分に合ったネイルサロンを見つけたり、自分に似合う新たなネイルを発見できたりします。AIが自分の体型、スタイル、年齢、性格などを考慮して、TPOに応じたコーディネートを大量のデータから導いてくれるようになる日も近いでしょう。

EXAMPLE_02

ビッグデータ×AI× スポーツ

映画「マネーボール」でも描かれた通り、メジャーリーグなどのプロスポーツではすでにAIが使われています。過去の対戦、フォーメーションなどの事細かな大量データをAIが学習することで、有益な作戦を導き出し、試合でそれが実践されています。味方や相手のパターンや弱点、選手それぞれのトレーニングメニューや体調管理まで、客観的で合理的なチーム強化を得意とします。AIは様々なスポーツにおける「司令塔」になりつつあります。

EXAMPLE_03

ビッグデータ×AI× お笑い

2016年にAIとお笑い芸人が大喜利対決をしたライブがありました。お題を出すとボケが返ってくるAIです。言葉の意味や繋がりに関する大量のデータから、お題に対する文章を組み合わせています。また、大量のお笑い動画データから、どのようなタイミング、声質、身振りやボケやツッコミをすると良いのかを導き出す取り組みもなされています。将来はネタを書いたり、爆笑をとれるAIコンビが出てくるかも!?

EXAMPLE_04

ビッグデータ×AI× グルメ

栄養データや大量のレシピデータをもとに、主要な食材からその食材を使った新たなレシピを提案してくれるAIが話題になりました。また、シェフや料理人の料理する動きをデータとして取得しようという取り組みもなされつつあります。このデータから、プロの技やコツといったものを明らかにできる日は近いでしょう。お料理ロボットなどにそうした技やコツを学ばせることで、あなたの家庭でも一流の味が再現できるかもしれません。

EXAMPLE_05

ビッグデータ×AI× マーケティング

顧客の大量の属性データ(年代、性別、住所など)や行動データ(Webサイトアクセス履歴、購入履歴、店舗来店履歴など)をAIに学習させることにより、商品を購入する顧客のパターンや特徴を導きだすことができます。これにより、優良顧客にターゲットを絞ってキャンペーンを展開することができます。また、それぞれの属性ごとの行動パターンを知ることで、ターゲットとする顧客層に向けた新商品の開発に役立てることもできます。

EXAMPLE_06

ビッグデータ×AI× 保険

自分の体調、生活に関する大量のデータを用いて、より自分の状況に合った保険料を動的に設定できるようになります。自動車保険の場合、自分がいつ、どこで、どのような運転をしていたかなどの日々のデータを提供することで、保険料、保償内容が日々動的に変わる保険商品が発表されています。乱暴な運転をすれば保険料が高くなるなら、みんな安全運転をするようになって、交通事故が少なく安心して暮らせる社会になるでしょう。

准教授 中西 崇文

筑波大学大学院システム情報工学研究科修士
【博士(工学)】
研究領域: データマイニング、感性情報処理

ビッグデータ×AI× 音楽

ワクワクする曲、AIが作ってくれるかもしれません

コンピューターが生み出すクリエイティビティ(創造性)

データサイエンス学科では、社会、ビジネス、科学技術、政策、芸術、エンタテインメントなど、人間のクリエイティビティが必要とされるさまざまな場面において、人々の活動状況をWebコンテンツやSNSなどのデータから導き出し、新たな創造活動に活かすことができる力を身に付けます。創造性は、これまで人間のみにもたらされた能力と考えられてきましたが、現在では、データに基づき、AI(人工知能)などの技術を駆使することで、コンピューターが生み出しつつあります。

音楽とAI

音楽もその一つです。私は印象を表す言葉から曲を創る自動作曲システムの研究開発をしています。「楽しい」という言葉を入れると楽しい

曲を自動的に作曲してくれたり、好きな人とのSNSのやりとりを入れれば、その内容に合った甘い曲を作曲してくれます。これは、Web上に大量に散在する音楽データとそのコメントをAIに学習させることで、どういう言葉の時にどういう曲にすれば良いのかをコンピューターが自ら導き出して自動的に作曲しているのです。作曲という創造的な活動をAIなどの技術が可能にしています。

AIとの共存が、新たな時代のクリエイターを生み出す

今後、こうした技術を活用して創造性を発揮する、新しい形のクリエイターやデータサイエンティストが求められています。AIとどのように共存して、クリエイティビティを促進し、生産活動をしていくべきか、この学科で共に考えていきましょう。

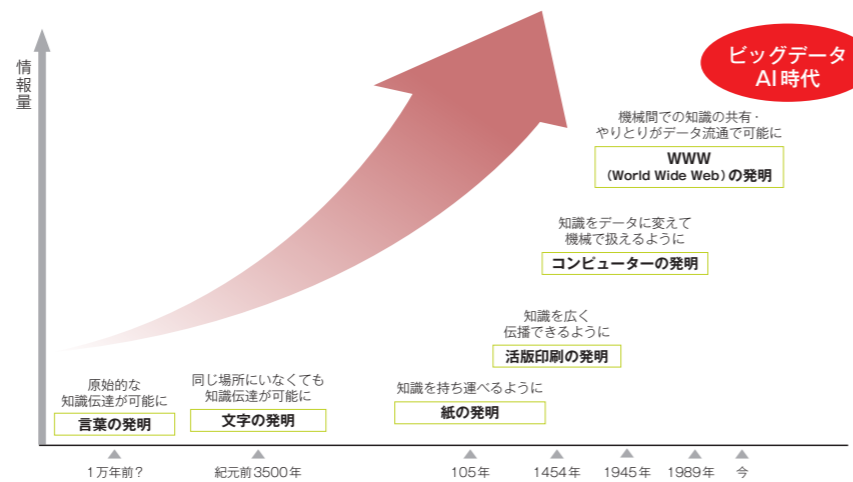
「データサイエンス」ってなに?

武蔵野大学の考える

ビッグデータ×AI×アイデアで 新たな価値を創造する

武蔵野大学の考えるデータサイエンスとは、データを統計的に処理するだけでなく、AI(人工知能)技術を用いて大量のデータを共有、検索、統合することにより、物事の本質を見抜き、新たな知識を発見し、独創的アイデアで新たな価値を創造する学問です。

そもそも人類は、先人達の知識を発展させて豊かな文明を築いてきました。初期の人類は、言葉の発明により、対話という創造的活動で、他の生物に比べて効率的に知識を伝達することを可能としました。また、人類は文字を発明することにより、知識を文字で記述することで、構造化しつつでもどこでも伝播することが可能となりました。さらに、コンピューター、インターネットなどの情報通信技術により、データという新たな知識表現を使って、これまでよりも、圧倒的に速く、大量に知識を処理、伝播が可能となりました。



●ビッグデータとは

現在、ネット検索やSNSのつぶやき、投稿された写真や動画、コンビニや改札でのICカードの利用履歴など、人々の社会活動はデジタル化され、逐次、データとしてインターネット上に蓄積・共有されています。日々増えていくこうした多種多様な大量のデータを「ビッグデータ」と呼びます。これらのデータをいかに活用するかが大事です。データを分析し、その結果から導き出される知見を、ビジネスの課題解決や社会をより良くすることに繋げてこそ、データに価値が生まれるのです。

●AI(人工知能)とは

人間と同じような思考プロセスをコンピューターで実現する技術の総称です。人間が子どもの頃からいろんな経験や知識を学んで成長していくように、AIはたくさんのデータを学習することで、潜在的なパターンを見つけ出し、新たな知識を創造します。学習するデータの量が多ければ多いほど精度が上がることから、ビッグデータがAIの学習に大いに活用されています。また、コンピューターの処理能力は人間よりはるかに速いため、ビッグデータの分析にもAIは欠かせません。このように、あらゆるデータがあふれる情報化社会においては、ビッグデータとAIは不可分なのです。

●ビッグデータ×AIで広がる無限の可能性

ビッグデータとAIの知識とスキルに、独創的なアイデアを掛け合わせることで、新しい価値を生み出すことができます。もちろん、自分の身近なことや趣味からアイデアを見つけることもできます。武蔵野大学のデータサイエンス学部では、マーケティング、環境、ゲームといった様々な分野でのAIの活用を講義で学ぶと同時に、海外の研究者や企業との共同研究に触れて(「未来創造PJ」)、アイデアを見つけ、深められる機会を用意しています。現代社会では、教育、医療、経済、環境、政策など、あらゆる領域や分野で「ビッグデータ×AI」のニーズがあり、この知見を活かす領域と可能性は無限に広がっています。

「データサイエンティスト」ってなに?

武蔵野大学の考える

未来をリードすると 期待されている職業です

武蔵野大学の育成するデータサイエンティストとは、データを統計的に処理できる力はもちろんのこと、AIでビッグデータを扱う広範な知識とスキルを持ち、新しい価値を生み出す創造力と、イノベーション(改革・変革)を起こすビジネス力で、持続可能でより豊かな社会へ向けて未来を切り開いていく人材です。



●武蔵野大学でデータサイエンティストを目指す

データから新しい価値を生み出すためには、

- ビジネスの課題や目的を理解し、データとAIを活用するための道筋を作る力
- 課題や目的に合わせて分析用のデータを構築する力
- 収集したデータをAIで高度に分析する力、そのためのプログラミング力
- データからAIが推測した結果を、ビジネスに実装させる力
- データからまったく新しい知見を見出す力

こうした力がデータサイエンティストには求められます。

そのために武蔵野大学では、ビッグデータを扱うためのAIの技術だけでなく、データサイエンスでは標準となりつつあるPythonという言語を用いたプログラミングや、IoT(モノのインターネット)、サイバーセキュリティ、VR(仮想現実)、ロボティクスといったデータと情報空間を取り巻く広範な分野の知識とスキルに加え、学外・海外の企業や研究機関との共同研究をする機会から、ビジネスの知識、市場トレンド、海外の最新状況などを実践的に学ぶことができる機会を用意しています。文系理系の枠組みにとられない、新しい学びがあります。

□データサイエンティストの活躍が期待される業界

情報通信	ビッグデータを有効に活用して情報システムを構築できる人材(Webデザイナー、Webエンジニア、AIクリエイター)の需要はますます高まっています。
製造	ロボットやデータを活用して生産現場を最適化できる人材(生産開発・管理、ロボットエンジニア)が欠かせません。
金融	複雑で多様なデータから開発される金融商品を取り扱える人材(データアナリスト、コンサルタント、フィンテック)が求められています。
医療・介護・福祉	AI診断システム、介護ロボット、現場データの可視化などビッグデータを活用できる人材(データベースエンジニア、ビッグデータエンジニア)が求められています。
広告	顧客の行動、購買データを分析できる人材(ビッグデータエンジニア、マーケティングアナリスト)は、マーケティングに欠かせません。
農業	天気、気温、作物の健康状態など各種データを活用して農作物の生産向上に貢献できる人材(データベースエンジニア、ビジネスイノベーター)が期待されています。
官公庁・団体	持続可能な社会を実現するために、高度な統計処理により政策立案、社会インフラ整備に貢献できる人材(コンサルタント、データサイエンティスト)が求められています。

このほかにも、各種メーカー、保険、交通、土木、小売、流通、電力、ホテル・旅行、アパレル、マスコミ、エンターテインメント、教育、スポーツ、ヘルスケアなど、あらゆる業界、業種で、データを活用できる人材が切望されています。

武蔵野大学で学ぶデータサイエンス

武蔵野大学が育成するのはデータサイエンスにかかわる広範な人材です。データの特性や分析・統計手法はもちろんのこと、Pythonによるプログラミング法を修得し、IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)の知識とその活用方法を徹底的に学びます。学びを社会に結びつけるために、学外での実践の場を多く用意しているのが本学の特長です。

□ 学びのポイント

1 実社会・グローバル社会を想定した実践的な学び

国際的な企業で活躍するデータサイエンティストから、実際に行われているデータ活用のアイデアやスキルを学びます。1年次後半から始まる「未来創造PJ」では企業との共同研究や官公庁からの委託研究に携わるなど、実社会の課題を見据えた実践的な学びを用意。データとその分析を社会に活かすための手法と視点、考え方を身に付けます。

2 海外インターンシップや海外メンター制度

データサイエンティストの進路は国内にとどまらず、グローバルな活躍が想定されます。海外の大学や研究機関でのフィールドワーク、インターンシップや、リアルタイムに海外と行う共同演習や実験などの機会を用意しています。海外の連携大学や研究機関の教員・研究者が海外メンター(指導教官)として指導を行う学びもあります。

3 進路を想定した3つの専門コース

本学科ではデータサイエンティストの進路と目指す将来イメージを具体的に想定し、その目標に向かうために効果的な科目を2年次後半から3つの専門コース(履修モデル)として用意しています。

AI
クリエーション
コース

AI
アルゴリズム
デザインコース

ソーシャル
インノベーション
コース

▶ 専門コースの詳細は P.07 ◀

□ 4年間の学び

1年次

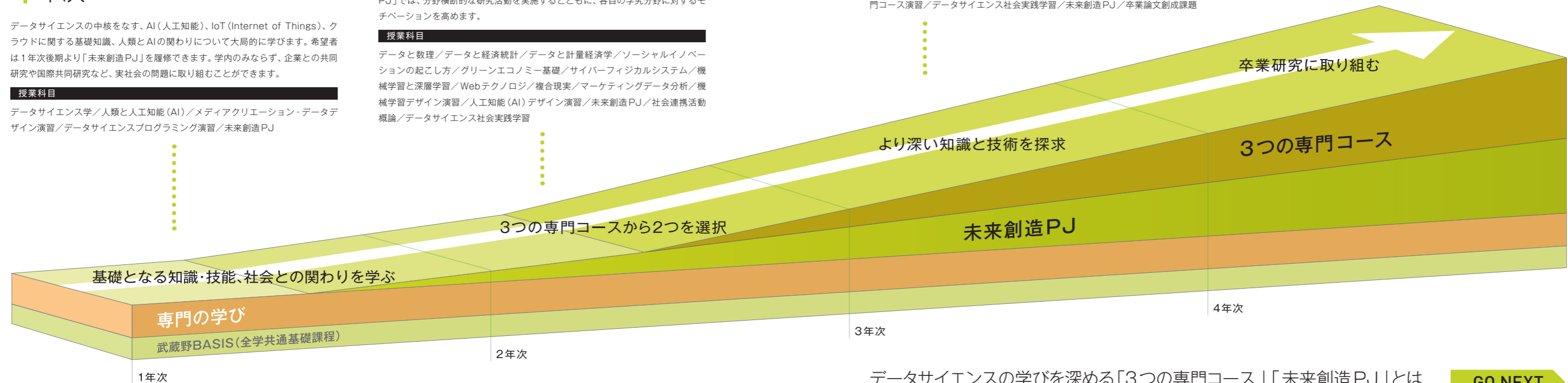
データサイエンスの中核をなす、AI(人工知能)、IoT(Internet of Things)、クラウドに関する基礎知識、人類とAIの関わりについて大局的に学びます。希望者は1年次後期より「未来創造PJ」を履修できます。学内のみならず、企業との共同研究や国際共同研究など、実社会の問題に取り組むことができます。

授業科目
データサイエンス学/人類と人工知能(AI)/メディアクリエーション・データデザイン演習/データサイエンスプログラミング演習/未来創造PJ

2年次

Webやメディア技術、社会におけるデータ分析などを学修し、Pythonを用いたプログラミングスキルを修得しつつ、社会応用のための知見を広げます。「未来創造PJ」では、分野横断的な研究活動を実施するとともに、各自の学究分野に対するモチベーションを高めます。

授業科目
データと数理/データと経済統計/データと計量経済学/ソーシャルインノベーションの起こし方/グリーンエコノミー基礎/サイバーフィジカルシステム/機械学習と深層学習/Webテクノロジー/複合現実/マーケティングデータ分析/機械学習デザイン演習/人工知能(AI)デザイン演習/未来創造PJ/社会連携活動概論/データサイエンス社会実践学習



□ 授業紹介

●…共通科目 ■…AIクリエーションコース ▲…AIアルゴリズムデザインコース ■…ソーシャルインノベーションコース

人類と人工知能(AI)

ビッグデータ分析はAIが適用されることにより、次世代の新たな人智を築く基礎となりつつある。実際のビッグデータに人工知能を適用することによってどのような知識エコシステムを生むのか、またその適用手法について学ぶ。

**データサイエンス
プログラミング演習 I**

データサイエンス分野においてメジャー言語となっているPythonを用いた、順次、分岐、反復、算術演算、文字列、真偽、リスト、タプル、関数の利用等のプログラミング手法について学ぶ。

人工知能(AI)デザイン演習 I

Pythonを用いてデータから分類を予測するクラスターリング手法について演習を行う。具体的には、階層的手法や被階層的手法等を扱いながらそれぞれの手法の特徴について学ぶ。

**人工知能(AI)
ゲームクリエーション**

実際にゲームを作成しながら、その具体的な方法とコンピューターとの対戦のための人工知能(AI)の活用について学ぶ。また、コンピューターゲームのモノづくりを通じてコンピューターのソフトウェアがどのようにして動いているかを理解する。

**機械学習
アルゴリズムデザイン**

データの収集・処理・可視化する手法、アルゴリズムを考える力を身につける。また、実際のデータを用いて体験することで、課題の発見および解決するための最適な手法の提案、実行、解釈を行う力を身に付ける。

**社会・環境・ビジネス
フィールドワーク**

環境センサーによって実際にデータを取得し、IoT・ビッグデータ分析技術の活用による環境データに対する科学的な見方や考え方を修得し、環境センシング技術や環境データ解析能力、環境ビジネス発案スキルを身に付ける。

ロボティクス・IoT

IoT、AI、ビッグデータとともに進展するロボティクスの概要を示しつつ、近年のロボットの活用事例、知能化の具体的な事例を紹介することで、ロボティクス・IoT分野の諸概念、動向を理解する。

時空間データベース

実空間と情報空間をつなぎ実世界の多様な課題同士の関連性を分析するツールを用いて、時系列データ解析技術、時空間データのモデリング、時空間データベースの概念モデルの基礎を学ぶ。

ビジネスモデル創出

ビジネスモデルの構築から実践・改革に至る局面を体験し、ビジネスモデルの機能と利益への寄与を総合的に学ぶ。また、ビジネス面での創造意欲・挑戦的姿勢を身に付ける。

3年次

3つの専門コースで、目指す将来イメージにあわせた演習を通して実践的な力を身に付けます。「未来創造PJ」での成果を国内・海外でのデータ分析のコンペティションへのエントリーや、実際のビジネスへの応用、学会で発表するなど、研究成果を社会や産業界へ発信していきます。

授業科目
データサイエンス特論/情報経済特論/データマイニング/専門コース科目/専門コース演習/データサイエンス社会実践学習/未来創造PJ/卒業論文創成課題

4年次

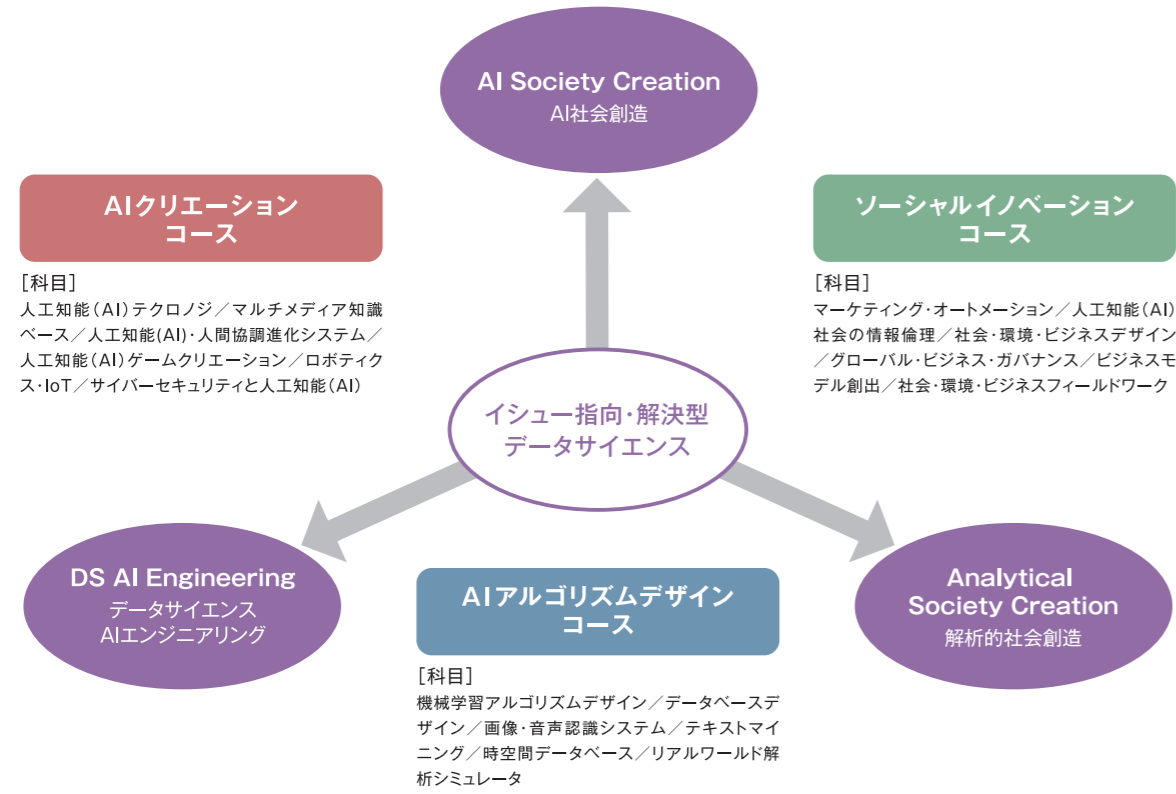
実験や先行研究の調査を行い、4年間の学びの集大成となる卒業論文をまとめます。また、その成果を国内外のコンペティションや学会で発表するなど、新規的なアイデアや手法を積極的に国際社会へ発信します。

授業科目
卒業論文

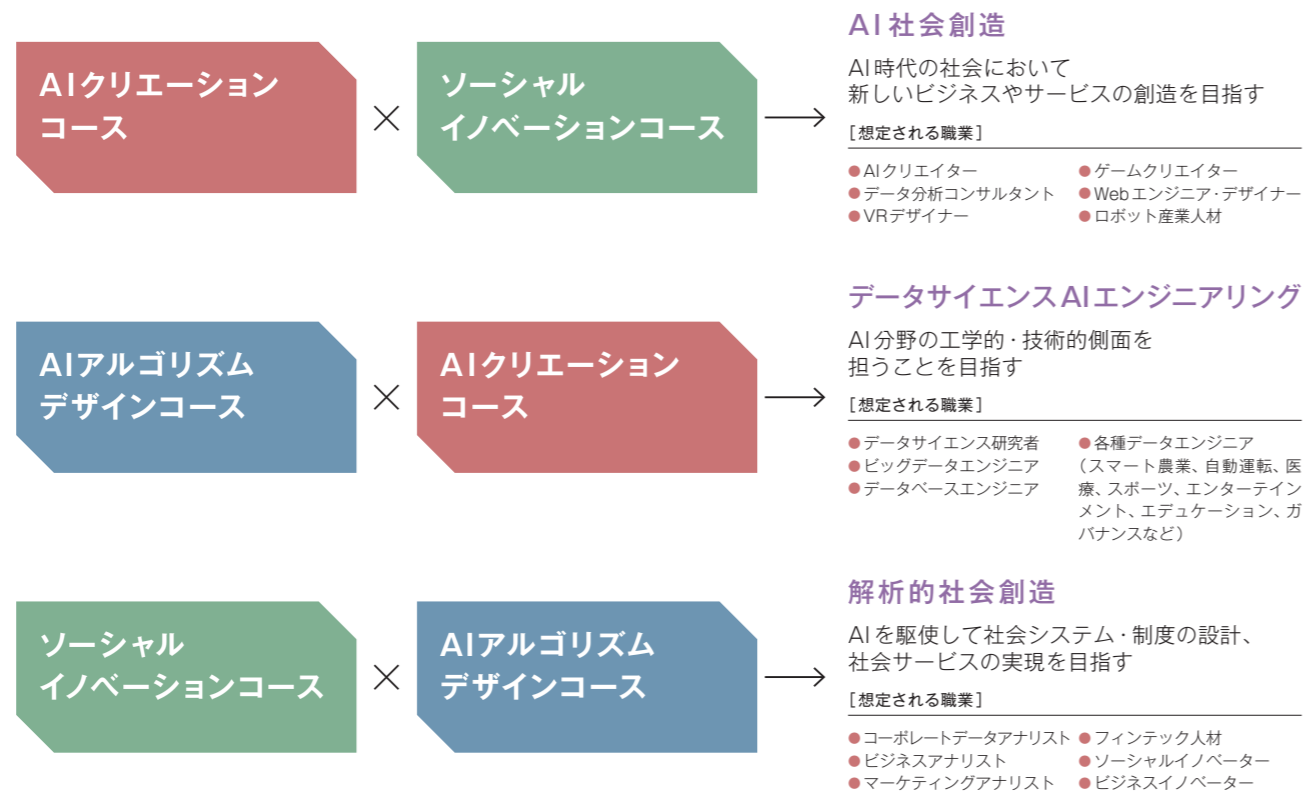
データサイエンスの学びを深める「3つの専門コース」「未来創造PJ」とは... **GO NEXT**

データサイエンス3つの専門コース

データサイエンティストは新しい職業です。どのような道に進めるのか、そのためにどのような学びを重ねていけばいいのか。本学科ではデータサイエンティストの進路を具体的に想定し、その目標に向かうために効果的な科目を3つの専門コース（履修モデル）として用意しています。2年次後半から、この3つのコースからメインとサブの2つのコースを選び、履修します。



【この3つのコースからメインとサブの2つのコースを選び履修します。】



未来創造PJ

未来創造PJとは、少人数のゼミ形式の科目です。学内でのグループ学習のみならず、企業との共同研究や国際共同研究、官公庁からの委託研究などに携わり、大学で身に付けたスキルや知識をどのように実社会の課題に活用できるかを実践的に学べます。希望者は1年次後期から履修できます。



PROJECTS

AIシステムデザイン

サイバー・フィジカル空間におけるビッグデータを活用したAIシステムの設計・構築により社会・自然環境の問題解決、新たな知識・価値を創造する研究プロジェクト

ビジネスマーケティング

顧客や市場からもたらされるビッグデータを分析して売上・顧客満足度の向上だけでなく、顕在化していない需要を発掘することにより新たな価値の創出を行う研究プロジェクト

サービスデザイン

データサイエンス、AI、デザイン思考を駆使し、ユニークなユーザー体験価値(User eXperience)サービスの発掘・デザイン・評価を行う研究プロジェクト

IoT・ロボティクス

多様なIoT機器・環境センサーから得られるビッグデータを活用しながら、人とロボットの相互作用・融合を見据えた未来志向のロボティクス社会の創造を行う研究プロジェクト

デジタルビジネスイノベーション

IoT技術を活用し、人々が実活動する環境のデータを取得し、AI技術を駆使して新ビジネスの創出のプロセスを可視化することで、人間の創造性の源泉を解き明かす研究プロジェクト

仮想現実 ※構想中

仮想現実(VR)の技術体系を実際に先進機器を使いながら学修し、ビッグデータをより直感的に把握するための可視化手法やVRによる新たなユーザー体験を創造する研究プロジェクト

※構想中のため、変更となる場合があります。

CHECK! 先進のAI教育・研究環境と充実の学習支援「AIスマートキャンパス」(構想中)

本学部の学生は2年次以降は有明キャンパスで学びます。このキャンパス全体をデータサイエンスの実験環境とした「AIスマートキャンパス」を計画しています。クラウド化された環境だから、いつでもどこでもeラーニングで学習が可能。環境センサーやサイネージといったIoT機器でキャンパス内のさまざまな情報をデジタル化し、収集したデータを活用することで、学生が自らキャンパスをスマートにするAIを作成できるようになります。

データサイエンス学科の教員が見つめる「AIの可能性」とは...

GO NEXT

PROFESSOR'S VISION

データサイエンス学科の教員が見つめる
「AIの発展」と「世界の可能性」

ビッグデータ×AI×

撮影



AIがあなたに代わって
人生のハイライトを
撮影してくれます

准教授 中村 亮太

慶應義塾大学大学院 理工学研究所 後期博士課程修了[博士(工学)]
研究領域: ヒューマンコンピュータインタラクション、
MR(複合現実)活用、機械学習活用

身の回りで起きた決定的瞬間。重大な事件だけでなく家族や友人との間で起こった面白い出来事。「見逃してしまった」「もう一度見たい」「誰かに見せたい」。多くの人がこのような気持ちになったことがあると思います。しかしながら過去に遡ることもカメラマンを同行させ、常に撮影してもらうこともできません。そこで私は、AIを搭載し知能を備えたカメラがユーザーまたはカメラマンの代わりとなってユーザーの周囲で起きた決定的瞬間を記録してくれる仕組みを研究しています。具体的には、周辺情報だけでなくユーザーの視線や表情、脈拍などの生体情報も機械学習することで「もう一度見たい」シーンを自動判別できる技術の実現を目指しています。



パラグライダーやラフティング、キャンプなどアウトドアによく出掛けています。

ビッグデータ×AI×

学び

学習ビッグデータ分析と
アクティブラーニングにより
私たちの創造性を高める

准教授 林 康弘

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 後期博士課程修了
[博士(政策・メディア)]
研究領域: マルチメディア・データベース、学習支援システム、教育工学

私は学習ビッグデータ(eラーニング学習履歴、IoT機器センシングデータ等)をメタレベルで統合・分析して、学習者の学習状況に基づき、学習者により効果的な学習方法を提示する学習支援システムとアクティブラーニングの研究を行っています。単に教材や課題を提示するだけでは不十分。新たなアプローチに取り組んでいます。例えば、学習者が論じるべき点(イシュー)を特定させる問題提示、何回も明るく解説するロボット先生、グループワークを効率よく行えるアプリ、照明・効果音による教室の雰囲気の切り替え、モノづくりの喜びを感じられるプログラミング授業、TVクイズ番組と同様の演出を伴う講義など、学びを促進、創造性を高める仕掛けが大切です。未来の学びをデザインすることが目標です。



Pepperアプリ開発、鉄道情報提示、購買分析など企業とも共同で研究しています。
趣味は旅行と釣りです。



ビッグデータ×AI×

世界地図



身近な環境データを
グローバルに蓄積・共有・分析。
世界の知の創造に参画する

准教授 佐々木史織

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 後期博士課程修了
[博士(政策・メディア)]
研究領域: 時空間マルチメディアデータベース

今は誰でもGPS情報つきの写真や動画を投稿できます。IoTという技術を使えばセンサーデータをリアルタイムに収集することもできます。政府や国際団体の公開するオープンデータや一部オンラインニュースをフリーで読めます。それら全てを時間と空間とAIで繋ぎ合わせると何が起ころうでしょう。「世界の天気予報地図」、それと同じものがあらゆる自然事象について作れます。世界の森・川・海・砂漠・魚・鳥予報地図…無限です。少々物騒ですがテロ地図や、あと民俗文化地図など社会事象も可能です。しかもリアルタイムに更新される。そんな世界地図システムの構築と、その社会への役立て方が研究対象です。



趣味は世界の海洋環境と食文化の調査。世界中を飛び回っています。

AIを使って何かしたくなったら...

GO NEXT